

情報活用能力育成のための指導事例【小学校 第3学年 社会】

単元・題材名	●●町の様子（※ ●●は町名）		指導時間（本時）	2 / 10
本時の目標	教科・科目	●●町の様子を調べて、●●クイズを作ることができる。		
	情報教育（3観点8要素）	<p>[実践] ■課題や目的に応じた情報手段の適切な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コンピュータの基本操作やソフトウェアの起動・終了ができる。（モA11-2） ・ ローマ字入力で、ひらがなを入力する。（モA12-2-040） ・ ブラウザの基本機能（リンク・戻る・お気に入り等）を使える。（モA21-2-110） <p>■必要な情報の主体的な収集・判断・表現・処理・創造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料やメディアを使って情報を集める。（モA21-2） ・ ブラウザを使い、インターネット上の情報を閲覧する。（モA21-2-060） ・ 必要な情報をWebページから見付けることができる。（モA21-2-070） 		
活用する主なICT機器等	■コンピュータ ■インターネット			
本時の概要	自分の住んでいる街の様子について、クイズを自作させる活動で、インターネットを活用し情報収集させる。その際、基本的な操作を身に付けさせるとともに、インターネットの特性についても理解させる。			
本時の流れ	主な学習活動	ICT活用の工夫及び留意点等 (○：教員の活用，◎：児童生徒の活用)		
	導入	<ol style="list-style-type: none"> 1 前時までの学習を振り返る。 2 本時のめあてを確認する。 3 ブラウザの使用方法や、検索の仕方について確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時までの学習を振り返り、校区から●●町全域に視野を広げられるようにする。 ○ インターネットの閲覧について確認させる。 ※ 操作に迷った場合は、最初のページに戻るよう指導し、確実に操作できるようにする。 	
	展開	<ol style="list-style-type: none"> 4 ●●町ホームページを閲覧し、必要な情報をノートにメモする。 5 ●●クイズの問題を作成したり、作成した問題を友達に紹介したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ インターネットを閲覧させる。 ※ 必要な情報を収集できない児童には、ホームページのどのページを閲覧すればよいかをアドバイスする。 ・ ●●クイズを完成させた児童には、友達に参考にしたWebページを紹介するように促し、互いに学び合うことができるようにする。 	
終末	<ol style="list-style-type: none"> 6 本時のまとめをする。 			
使用した教材・資料（コンテンツ）	<p>○名称・出典・内容など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ●●町ホームページ「こどものための●●町講座」 〈内容〉●●町ホームページに設けられたページで、「数字で見る●●町」、「●●町の世界」等、児童が興味をもちそうな10項目以上の情報を閲覧することができる。 			
ICT活用の指導上のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会科以外でも、各教科等の指導の中で、情報収集などの学習を通じて、インターネットを閲覧する能力を身に付けさせることができる。 ・ キーボードによる文字入力が少しずつできるようになってから、検索サイトを用いて目的とするWebページを閲覧できるようにする。 			
備考	<p>○ICT活用に関して日頃から気を付けていることなど</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童が自力解決できるよう、教師の指示やアドバイスは可能な限り最小限にしている。 			

【本時の目標における情報教育（3観点8要素）の略記について】

「情報活用の実践力」→ [実践], 「情報の科学的な理解」→ [理解], 「情報社会に参画する態度」→ [態度]
「情報活用能力育成モデルカリキュラム」の対応番号→モ番号